

3 事前事業評価に係る政策評価の結果の政策への反映状況

○評価書はこちら

- 1 次世代無線通信測定技術の研究開発（拡充）
100GHz 超帯域無線信号の高精度測定技術の研究開発
- 2 ホワイトスペースにおける新たなブロードバンドアクセスの実現に向けた周波数高度利用技術の研究開発
- 3 動的偏波・周波数制御による衛星通信の大容量化技術の研究開発
- 4 超高周波搬送波による数十ギガビット無線技術の研究開発
- 5 脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発
- 6 国際連携によるサイバー攻撃予知・即応技術の研究開発
- 7 グローバル展開型通信衛星技術開発事業

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	次世代無線通信測定技術の研究開発（拡充） 100GHz 超帯域無線信号の高精度測定技術の研究開発	評価結果を受けて、平成23年度概算要求において「100GHz超帯域無線信号の高精度測定技術の研究開発」として3.9億円要求した（うち、3.5億円が平成23年度予算に盛り込まれた）。
2	ホワイトスペースにおける新たなブロードバンドアクセスの実現に向けた周波数高度利用技術の研究開発	評価結果を受けて、平成23年度概算要求において「ホワイトスペースにおける新たなブロードバンドアクセスの実現に向けた周波数高度利用技術の研究開発」として9.0億円要求した（うち、8.1億円が平成23年度予算に盛り込まれた）。
3	動的偏波・周波数制御による衛星通信の大容量化技術の研究開発	評価結果を受けて、平成23年度概算要求において「動的偏波・周波数制御による衛星通信の大容量化技術の研究開発」として3.0億円要求した（うち、2.7億円が平成23年度予算に盛り込まれた）。
4	超高周波搬送波による数十ギガビット無線技術の研究開発	評価結果を受けて、平成23年度概算要求において「超高周波搬送波による数十ギガビット無線技術の研究開発」として2.6億円要求した（うち、2.4億円が平成23年度予算に盛り込まれた）。
5	脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発	評価結果を受けて、平成23年度概算要求において「脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発」として20.5億円要求した（うち、10.2億円が平成23年度予算に盛り込まれた）。
6	国際連携によるサイバー攻撃予知・即応技術の研究開発	評価結果を受けて、平成23年度概算要求において「国際連携によるサイバー攻撃予知・即応技術の研究開発」として7.0億円要求した（うち、6.3億円が平成23年度予算に盛り込まれた）。
7	グローバル展開型通信衛星技術開発事業	評価結果を受けて、平成23年度概算要求において「グローバル展開型通信衛星技術開発事業」として10.3億円要求した（平成23年度予算に盛り込まれなかった）。

（注）No. 4 は、「電波利用料による研究開発等の評価に関する会合」（平成 23 年 1 月 27 日）における有識者からの御意見を踏まえ、政策名称を一部変更することとした（変更後「超高周波搬送波による数十ギガビット無線伝送技術の研究開発」）。